

10 月 15 日 : 売り圧力にさらされ下落

昨日は後場に銀行株が弱含み市場を支えることが出来ず、両市場とも不安定な展開となった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.05% 下落し、993.05 ポイントで引けた。

同市場では出来高が 1 億 80 百万株、売買代金は 4 兆ドン（1 億 71 百万ドル）となった。

VN 指数は月曜日、0.17% 上昇し 993.57 ポイントで引けていた。

VHM(-1.7%)、GAS(-0.8%)、SAB(-0.7%)、VNM(-0.2%)、BVH(-0.6%)、HPG(-0.5%)、FPT(-0.5%)、MBB(-0.4%) などを中心に、多くの大型株が売り圧力にさらされた。

反対に、MWG、VRE、VJC、MSN、VIC、BID、VCB、VPB、TCB などは底堅く、相場を下支えした。

FLC ファロス建設 (ROS) は、子会社のバンブー航空が 2020 年に株式を上場させるというニュースで、火曜日も引き続き資金流入を呼び寄せた。ROS の株価は 2 日連続で、日中値幅の 7% の上限に達した。

時価総額と流動性の大きい 30 銘柄のうち、12 銘柄が上昇したのに対し、15 銘柄が下落した。残り 3 銘柄は変わらずだった。

セクター別では、保険、証券、石油・ガス、農業、IT、海産物加工、建設資材などが下落した。

これらのセクターの下落幅は 0.29%～1% に達した。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 0.03% 下落し 106.01 ポイントで引けた。

出来高は 31 百万株、売買代金は 4,760 億ドンだった。

同指数は月曜日、0.74% 上昇し 106.05 ポイントで引けていた。

外国人投資家は、VIC(832.8 億ドン)、VNM(369.4 億ドン)、HPG(267.8 億ドン) などホーチミン市場で 1,591.3 億ドンを売り越した。ハノイでは外国人投資家は 1,392.2 億ドンを買い越した。

BSC 証券によると、外国人投資家がホーチミン市場で大きく売り越したことが、市場に影を落としたとしている。

「米中貿易協議の進展に興奮が高まっていたが、中国側が合意を前に一層の交渉を望んでいるということで不安に取って代わった」と BSC 証券は見ている。

バオベト証券 (BVSC) は、VN 指数が 980-983 ポイントと 998-1,004 ポイントのレンジで当面は上下すると予測している。

「市場は第 3 四半期の決算次第で、セクターの選別が広く分散するだろう。銀行、小売、不動産、電力、天然ゴム、タイヤ・ゴムなどは第 3 四半期決算が良好と予測している。こうしたセクターが調整した際には買いの好機となるだろう」 BVSC は述べた。。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。